

「第 50 回下水道研究発表会」口頭発表で、九頭竜川流域下水道における取り組みについて発表しました。

平成 25 年 7 月 30 日から 8 月 1 日まで、東京ビックサイトで公益社団法人日本下水道協会主催による「第 50 回下水道研究発表会」が開催されました。その企画の一環として国内外の下水道関係者の口頭発表が行われ、「マネジメント向上を目的とした保守点検業務のデータベース化」と題して発表しました。

九頭竜川流域下水道は福井県、公益財団法人福井県下水道公社、民間事業者が協働で管理していますが、供用開始して 30 年以上が経過し、これまで以上に適切な保全管理が求められています。

今回の発表は、ICT（情報通信技術）を活用し、官民が一体となって活用できる情報インフラ「保守点検業務管理システム」を構築した時の留意点と効果について報告したものです。

## 発表状況

発表者：公益財団法人福井県下水道公社 朝倉 康明



(平成 25 年 7 月 31 日 於：東京ビックサイト)